



かえるの声

平成25年 5月13日(月) No. 5

途別小学校の教育目標

あかるい子 (徳)

かしこい子 (知)

たくましい子 (体)

知・徳・体をバランスよく育てよう

生涯的に生きて働く力

途別小学校の子どもたちは、学校ではとても言葉遣いがよく、感心することが多々あります。「〇〇です。」「〇〇だと思います。」「〇〇ではないですか？」など、きちんと敬体で話すことのできる子どもがたくさんいます。

また、以前も書きましたが、進んで挨拶をする子どもがたくさんいます。挨拶や正しい言葉遣いができるということは、生きていくうえで大変重要な力となります。

大人になればなるほどコミュニケーション能力が必要となります。自分自身でコミュニケーションを図っていかなければならないからです。話しかけられる側の印象を中心に考えてみますと、やはりぶっきらぼうに話されるよりも、美しい言葉で語りかけられた方が心地よく、その後のコミュニケーションも双方向で成立していく可能性が高くなります。

また、挨拶については「まずこちらから」という気持ちが大切だと思います。「子どもたちが挨拶しない」という話をよく耳にしますが、大人から挨拶をすれば、子どもはすぐに真似をするようになります。途別小学校の先生方はよく子どもたちに挨拶をし、言葉をかけています。ご家庭でもきっと日常的に挨拶が交わされているので、子どもたちの素晴らしい挨拶につながっているのでしょうね。

2点課題があります。1点目は「AとBのどちらがいいですか？」という質問に対して「A」、「B」というように「です」「ます」を付けずに答えてしまうということです。「Aです。」「Bだと思います。」など敬体で答える

習慣が必要です。2点目は、「これからも〇〇するよう、がんばってくださいね。」などのお話をいただいた後、反応が少ないということです。「はい。」などの返事をしっかりとすることも大切な力です。大人の世界でも、話す人の方を見て聞く人、うなずきながら聞く人、別のことをして聞いていないのかわからない人など様々です。やはりきちんと聞き、反応できる人が信用を得ていくのだと思います。

挨拶・言葉遣い・反応などの力は、キャリア教育で培う「人間関係形成・社会形成能力」の1つです。生涯的に自分をよい方向に導く「生きて働く力」として再度重視し、学校・家庭・地域ではぐくんでいきたいと考えています。

ふるさとをいつまでも美しく

5月1日(水)本校ならではの三世代交流型環境教育「途別校下をきれいに」を行いました。長寿会の皆様のご協力をいただき、校下の道路沿いのゴミ拾いを児童が体験するという、貴重な学習です。「地域をいつまでもきれいに」という祖父母の皆様の願いが、子どもたちに浸透し、必ずや意思を継承することと思います。

ご多用の折、ご支援をいただいた長寿会の皆様、本当にありがとうございました。



子どもの姿に成果

学校の教育活動を進める上で、最も重要な評価の観点とは、「その成果が、子どもたちの姿にあらわれているかどうか。」ということです。

5月7日（火）に行いました春の避難訓練（地震想定）では、真剣かつ迅速な避難行動、静かに話や指示を聞く態度など、大変素晴らしい姿を子どもたちは見せていました。

笑いながら参加したり、外に出てから歩いたりするような児童は一人もなく、指導のため来校された消防署の方からも「よくできました。」と高い評価をいただきました。「訓練には常に真剣に参加するように！」という教職員の指導が、児童の姿に成果として表れたうれしい時間でした。

避難訓練の他に、地震後に起きた火災を想定し、消火器を実際に操作して行う、消火訓練の指導もしていただき、大変実践的で充実した避難訓練となりました。



寒い中でしたが、しっかりとお話を聞くことができました。

消火訓練も行いました。みんな消火器の操作が上手でした。



最高の天気！春の遠足

5月10日（金）は、この春一番ともいえる素晴らしい天気のもと、春の遠足を実施しました。

それぞれの学年に適した距離を歩いた後、音更町のエコロジーパークで、全校で・学年で・個人で十分遊び、爽やかな新緑の季節を満喫してきました。また、バスの運転手さんやエコロジーパークの皆さんにしっかりと挨拶もでき、大変立派でした。



畑の整備ありがとうございます

今年度PTA体育部長さんに、畑の整備をしていただきました。子どもたちの学習を支えていただくお力添えに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

